

1 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 令和6年1月11日(木)
- 2 開 催 場 所 新館9階 191会議室
- 3 出席した委員 小南教育長、溝口委員、播委員、坂元委員、土屋委員
- 4 出席した職員 織田教育総務部長、桐山教育指導部長、
稲岡教育総務部次長、杉本教育指導部次長、
福島教育指導部公民館統括担当参事、
松尾教育指導部学校教育担当参事、
井上教育指導部部活動地域移行調整担当参事、
今津教育指導部青少年育成担当参事、
衣笠教育指導部教職員研修担当参事、
福本教育総務課長、松尾学務課長、梅野社会教育課長、
真鍋学校教育課長、藤尾青少年育成課長、
吉田教育総務課副課長、竹内教育総務課管理調整係長
- 5 傍 聴 者 0人
- 6 議 事 の 要 旨
 - 開 会 午後2時00分
 - 会議録署名委員指名のこと
坂元委員に決定
 - 12月定例教育委員会の会議録報告承認のこと
(事務局から会議録朗読報告)
一部表現を訂正のうえ、承認
 - 会議公開の可否決定のこと
全ての議事を公開することに決定

(報告事項)

1 令和6年度全国学力・学習状況調査に係る調査結果の取扱いについて
(教育指導部参事から説明)

委員 : 調査結果より市の平均正答率を公表するとのことだが、同じ平均であっても分布が異なると意味合いは変わってくる。このようなばらつきについては、どのように分析しているか。

事務局 : 各校で分析し、中央値等を把握することで個々の児童生徒の課題を見つけ、普段の授業に活かせるように工夫している。

委員 : 文科省は今後、紙ではなくタブレットを用いた学力・学習状況調査を検討しているそうだが、現場には課題が多いのではないか。

事務局 : 児童生徒についてはメクビットを用いた回答を進めているところである。学力・学習状況調査の出題については今後検証を進めていく。

委員 : 学校・個人によるタブレット使用の習熟度に差が生じているのではないか。

事務局 : 使用状況の差は承知している。今後、どのように学力・学習状況調査が進められるかを踏まえて対応する必要がある。

教育長 : 平均正答率のみを公表する現状は問題だと感じる。来年度以降は分布や市全体の傾向を示す指標を公表できるよう検討いただきたい。
タブレットを用いてのテストは習熟の差がかなり懸念される。何らかの対策が必要である。

(協議事項)

1 義務教育学校の設置に伴う関係規則の整備に関する規則及び義務教育学校の設置に伴う関係規程の整備に関する規程の制定について
(教育総務部次長から説明)

原案可決

委員 : 加古川市就学援助規則の一部を改正する規則(新旧対照表)の改正後の第2条第3項において、『「入学予定者」とは、次年度に加古川市立の小学校、中学校又は義務教育学校に入学(義務教育学校の後期課程への進級を含む。)を予定している者』という表現があるが、他の学区から両荘みらい学園の学区に転居し、後期課程より義務教育学校に進学するケースは「進級」ではないのではないか。

事務局：他の中学校と同様に取り扱うための規定の追加であり、ご質問のケースを対象外とする趣旨ではない。

教育長：他の規程も含め、条文が想定している意味合いと読めるか、法制上の問題がないか、改めて確認をしていただきたい。

確認の結果については後日報告するものとし、可決とさせていただく。

〔 ※後日、事務局にて【原案の表記で問題なし】の旨を確認した。 〕

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

2月1日（木）午後2時から開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1) 全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクールについて

全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクールにおいて、志方東小学校6年生が第2位となったことを報告した。

(2) 三木市立口吉川小学校の視察について

令和5年12月12日に三木市立口吉川小学校の複式学級の視察を行った。

委員：志方東小学校が児童数減少により複式学級の導入が検討されているとのことだが、他の学校はどのような状況か。

事務局：児童推計を基に推定すると、直近で複式学級の導入が考えられるのは志方東小学校であり、地域でも規模適正化の議論を現在行っている。次に児童数減少が進んでいるのは志方西小学校だが、こちらは複式学級を導入するような推計にはなっていない。

県が定める複式学級の基準を踏まえ、教員の配置が検討されることになる。

(3) 東播工業高校建築科の生徒による本岡家住宅の3次元測量データの寄贈について

東播工業高校建築科の生徒が本岡家住宅を3次元測量し、その測量データと測量データをもとに作成した高度なVR映像の寄贈を受けた。

○ 教育委員諸報告

[土屋委員から]

(1) 令和6年加古川市はたちの集いについて

令和6年1月7日に開催された加古川市はたちの集いに参加した。

委 員 : 式典当日に雨が降った場合はどのように対応されるのか。

事務局 : 会場として市民会館大ホール・小ホールを準備していたが、その他にも、雨天の退避場所として市民会館会議室等を活用できるか検討していきたい。

委 員 : 参加者へ、書面等で来賓がメッセージを伝えられる機会があれば良いと思う。

また、式典に行けなかった方から配布物・記念品だけ受け取りたいと言った相談はないか。

事務局 : 配布物については事前に各課から啓発パンフレット等を集めて準備している。式典については各中学校の代表者を含む実行委員会で構成を決定している。来賓の方のメッセージを伝える方法は実行委員会と協議する中で検討していきたい。

欠席者から物品受取に関する問合せはほとんどない。

委 員 : 学校名が書かれたプラカードを持っている人の周りにあまり新成人が集まっていない学校があった。実行委員会が集合写真を撮影し、配布してあげることによって集まりを良くすることが出来ると思うが、市からその費用を支出することは出来るか。

事務局 : 特に予算措置はしていない。

[播委員から]

(1) 加古川中学校における学校医・産業医としての活動について

令和5年12月13日に安全衛生委員会に参加した。

委 員 : 安全衛生委員会の諸報告の中で内科や外科等の区分ごとの保健室の来室状況について報告があったが、教室に入りにくいために来室した生徒は内科に計上されていた。体調不良とは事情が異なるので、分けて考えるべきだと提案した。

生徒は養護教諭に話しやすいと思い、来室していると思うが、教室に戻れるよう、学校と関係が切れてしまわないためにも養護教諭が話を聞くことは非常に大切なことである。教員と情報共有を行い、不登校になるのを防ぐことも有益だと感じた。

教育長 : ご意見を参考にして、来室状況の分析方法も検討いただきたい。

委員：子どもとの関わりに関連することだが、学習障害を持つ子どもはクラスに2～3人いると言われている。読み書きが2年程遅れている場合に学習障害と診断されることが多い。その子の特性に応じた学習方法等のアプローチを小学2年生までの早期に始めてあげることが、専門的にはよりよいと考えられる。

小学2年生位だと個人差も大きいため、様子を見ているケースが多い。早期対応の必要性を認識してもらいたい。

[坂元委員から]

(1) 令和6年加古川市はたちの集いについて

令和6年1月7日に開催された加古川市はたちの集いに参加した。

委員：新成人への配布物は年金等の啓発パンフレットといった、新成人にぜひ知っておいてもらいたい大切な情報が含まれているが、私立中学校進学者や不登校だった子は式典にあまり来ないため、大切な情報が届かない。そのような層にも届ける方法を検討いただきたい。

事務局：遠方から帰省する新成人も参加しやすいよう、昨年度より式典の開催日を3連休の中日にしている。全員参加は難しいが、参加者が増えるよう取り組みたい。

委員：以前は新成人のメッセージをホームページで公開していた。非常に良い取組だったと思う。また、大人からのメッセージを式典中に発信するのは難しいと思うので、事前に何か準備できたら良いと思う。これは実行委員会から出てくる発想ではないと思うので、事務局が助言すれば良いのではないか。

○ 教育総務部長諸報告

(教育総務部長から報告)

(1) 就学援助(入学準備金)の申請受付について

入学準備金の申請受付を令和6年1月29日(月)から2月15日(木)まで行う。

以上、1件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(教育指導部長から報告)

(1) 社会教育委員会議の開催について

令和5年12月22日(金)に、令和5年度第5回社会教育委員会議を開催した。

委員からは各学校への学校司書配置の必要性等の意見をいただいた。令和6年度にモデル事業として両荘みらい学園に学校司書を配置する。この事例を基に、学校司書の配置を全市展開できるよう努めていきたい。

- (2) 第16回加古川教育フォーラム・家庭教育大学全市研修会兼PTCA活動支援事業研究大会について
令和6年2月17日(土)に、第16回加古川教育フォーラム・家庭教育大学全市研修会兼PTCA活動支援事業研究大会を開催する。
- (3) 令和5年度 教育研究所研究員「研究発表会」の開催について
令和6年2月15日(木)に、令和5年度教育研究所研究員「研究発表会」を開催する。
- (4) 兵庫大学「ふれあい体験活動」・「インターンシップI」について
兵庫大学に令和5年度から教育学部が新設されたことに伴い、希望する市内小学校で同大学生によるふれあい体験活動・インターンシップIが実施されている。
この活動は教育実習の前段階と位置付けられており、行事の準備等を通じて教職や子どもへの理解を深めることが目的である。受け入れを終えた小学校からは子ども達が生き生きしていた、教職員の負担軽減に繋がるといった前向きな意見を頂いている。
- (5) 令和6年度 入学児特別支援教育に係る「すこやかアンケート」の実施について
加古川市では新年度入学時に特別支援教育に関して保護者から情報を得て支援に役立てる取組を行っている。保護者が特別支援教育コーディネーターとの就学相談を希望した場合は、入学前に各校から保護者に連絡し、保護者が学校やコーディネーターと連携し、子ども達の移行期を支えられるよう取り組んでいる。
- (6) 令和5年度 産業医職場巡視結果について
産業医職場巡視における指摘事項をまとめ、1月の校長会で報告した。
- 委員：産業医の更新時の講習でメンタルヘルスが取り上げられることが増えてきている。メンタルヘルスに問題を抱える教職員が増加しており、復職のタイミングが難しく、再発してしまうケースも多いと聞く。今後、教職員のメンタルヘルスに関する情報があれば教えて欲しい。
- (7) 「子どもの学びすぺーす『わかば』ウエスト」の試行実施について
地域からの要望を受け、西公民館において令和6年1月～2月の計4回、学習支援型教室として「子どもの学びすぺーす『わかば』ウエスト」を試行実施する。参加児童生徒のニーズ調査を行った上で次年度以降の西公民館での開催を検討したい。
- (8) 令和5年度 学習場面でのICT活用状況調査の結果について
令和5年11月に教員を対象に「学習場面でのICT活用状況調査」を実施した。結果より、学習場面でのICT活用が進んでいることがわかったが、教員によるクロームブックの活用や、協働的な学びでのICT活用の面でまだ課題があることがわかった。

以上、8件について報告

○ 閉 会 午後3時20分